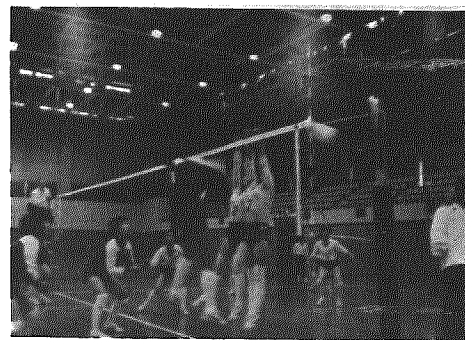


第9回 新潟県選抜 婦人バレーボール大会 横越クラブが準優勝



横越クラブのスパイク決まる

県選抜婦人バレーボール親善大会が十一月一日、上越市のリージョンプラザで開かれ、横越クラブが見事準優勝を果たしました。

横越クラブは、さる九月五日、泉市で開かれた三市二郡婦人バレーボール大会で、五年ぶり二度目の優勝を飾り下越地

区代表として出場しました。県選抜大会には、上、中、下越、佐渡の各地区予選を勝ち抜いた八チームが参加。横越クラブは一回戦で、上越こすもすをセットカウント二対一と破り、続く準決勝でも中越地区代表の強豪ファイヤーズ(長岡市)に第一セットを先取り、第二セットでもりー

12月11日(金) 1月10日(日) 年末年始の交通事故防止運動 ゆく年くる年 ルールを守って安全運転

十二月十一日から一ヶ月間、飲酒運転の追放、スリップ事故の防止などを重点に「年末年始の交通事故防止運動」が行われます。

会が多くなくなり、また、道路の積雪、凍結によりスリップしやすくなります。これらが原因の重大事故が例年多発する時期です。みんなので気をつけて明るいお正月を迎えましょう。

●酒を飲んだら車を運転しない。●車を運転するときは酒を飲まない。●車を運転する者には酒をすすめない。

●酒を飲んだら車を運転しない。●車を運転するときは酒を飲まない。●車を運転する者には酒をすすめない。

●酒を飲んだら車を運転しない。●車を運転するときは酒を飲まない。●車を運転する者には酒をすすめない。

●酒を飲んだら車を運転しない。●車を運転するときは酒を飲まない。●車を運転する者には酒をすすめない。

役場の鬼瓦

田村 忠雄(藤山)

いつだったか横越の林月堂と中村理髪店の前を通った時、何となく何かが変わったような変な数秒間があった。その時はそれだけのことで、特別気にとめるまでのことではなかったが、その後二、三日して、旧役場庁舎が取り壊されたことを知った。そして、あの時おかしなような気がしたのは役場がなくなっていたのか、と改めて思い返した。

新聞などで特別な文化遺産として取り扱われている中で、横越村でもこの明治の面影をたたえているこの旧庁舎が、横越の中心地から消えていったことは何とも残念なことではあるが、国道から奥まった所に醸成された空間が無意識のうちに伝わってきたのは私だけだったろうか。その取り壊された旧庁舎の

鬼瓦が先日駒込の阿部兵一氏の邸内に復元保存される作業に出合った。この復元保存は、阿部氏の高い次元における行為だと思いが、考えてみると、横越村にたった一人しかない存在になる訳で、氏は敢えてこれを意識してやったことではないし、結果として私がその評価するのである。ともすれば一種の懐古趣味みたいに見える取られがちだが、そういうのは経済支配に毒された文化思想である。社会は常に古いものから新しいものを追求してゆく、それが文化なのだ。しかしだからといって過去を消滅させてしまうのは文化で

はない。偉大なる建築家は常に過去の文化を基調としている。自らの鏡をそこにおいているのである。どうも断片的な言い方しか出来ないのはスペースが限られているからだだが、今まで空に見上げていた鬼瓦が地上に復元されてみるとこれは単なる物体ではない。そういう重量感が迫ってくるのである。この復元保存については友人市村正氏との協同行為であるが、後年横越村の人々に大きな感動を与えるであろうし、歴史の重みをひしひしと感じさせることは確かである。

な子どもになってしまっています。また、とかく母親は、点数だけを気にし、その優秀にこだわりがちであります。点数だけを気にしているような母親の子どもは、子ども世界の中で孤立し、友人ができないという結果になります。たまたま友人ができて、その友人の存在は、自分の競争相手ということになり、それは真の友人でなくなってしまう。人間にとって、本当の財産は、心を打ち明けることができる友人だと思いませんか。そういう財産を持ってなくならないです。

ないのだと思います。愛がないのは子どもにとっても大変な不幸であります。間違った愛が過ぎるのも子どもにとって不幸と云えると思いませんか。それにしても、母親の子に対する愛情が、子に密着し過ぎていて、故に、過保護に陥り易い。教育の難しさをしみじみ感じます。



赤い羽根共同募金 ご協力に感謝します

昭和62年度赤い羽根共同募金結果

種類	目標額	実績額	達成率
戸別(封筒)募金	1,201,000円	1,290,365円	107.4%
法人(企業)募金	458,000	412,200	90.0%
学校募金	30,000	37,792	126.0%
無人箱募金	3,000	4,946	164.9%
職域募金	14,000	13,797	98.6%
合計	1,706,000	1,759,100	103.1%

十月一日から始めた赤い羽根共同募金運動にご協力頂き、ありがとうございました。結果については、表のとおりです。このように、目標額を達成

できましたことは、村民の皆さんの温かいご理解とご協力の賜ものであります。厚くお礼申し上げます。なお、この募金は、昭和六

十三年度に村社会福祉協議会に配布され各種福祉事業に使われます。実績額 一、七五九、一〇〇円 〇県内の福祉に使われる額 四〇六、〇〇〇円 〇村社会福祉協議会に配分される額 一、三五三、一〇〇円



郵便局からのお知らせ

日曜日にも小包を配達するポストも 取集めます

去る十一月十五日から、日曜日についてもすべてのポストの取集、及び普通扱いの小包郵便物の配達を行ってまいります。

これにより、ポストの郵便物の取集、小包郵便物の配達は毎日実施となり、郵便はますますスピードアップされます。ますますご利用くださるようお願い致します。

横越郵便局長

母と子の会話

⑮ 白倉 丘

今回は、子どもがのびのびと遊ぶことができず、また思いやりのある子どもが育ちにくい、その原因を考えてみたいと思います。原因はいろいろあると思いますが、その重大な一つは、やはり親の過保護にあると思います。

子どもが第一反抗期の三歳、四歳頃になると、大人にとっていやな雨の日に、外に飛び出して、水しぶきを上げて歩きまわるのを喜びます。また泥遊びが好きであります。子どもがそういう遊びをしようとする時、すぐ親は引きとめてしまいませんか。またそういう遊びをしていく子どもの仲間に入ろうとすると、「ああいう友だちの仲間になつてはいけません。」と、言ってしまうのが普通です。子ども

成長をはばむ過保護

過保護の子どものは、憶病なくせにほかの子どもを見下そうとしたりします。またほかの子どもを悲しむや苦しみを自分のものとして考えない子どもになりやすいのです。かえってほかの子どもの悲しみや苦しみを、いい気味だという自己中心的

ふるさとカレンダーを送ってみませんか

毎年発行して好評を得ている横越村のふるさとカレンダーが、今年も写真集団横越島などによって制作されました。

阿賀野川をテーマにした、二カ月曆六枚になっており一年が過ぎたら、おきにいのり写真を切りとり額にいれて楽しめます。

原稿は有線放送で放送されたものをまとめたもの代金は送料込みで七百四十円です。

横越郵便局 カレンダーのみお買いもとの場合はルート49(神田書店)にてお買いもとめください。五百五十円

12月の納税等

村県民税	4期
国民健康保険料	5期
国民年金保険料	9期(12月分)

納期まで忘れずに納めましょう